

授業科目	* 疾病学総論				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11105J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	浅野 嘉延							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として病院に長く勤務した内科医が、臨床経験をもとに様々な疾病について解説する。疾病に関する知識は、適切な看護を行うために不可欠である。</p> <p>この授業の前半では、「炎症とは何か」など臓器を超えた多くの疾病に共通する病態生理の概念を解説する。後半では各臓器における代表的な疾病の病態(疾病発生のメカニズム、疾病によって人体の構造と機能がどのように変化しているか)を解説する。</p> <p>各疾病の病態を理解することで、2年次の「疾病学各論」で学習する疾患の症状、検査異常、治療法に連続することができる。</p> <p>対面授業であるか、遠隔授業であるかは未定である。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 壊死、炎症、循環障害、腫瘍、など臓器を超えた病態生理の概念を説明できる。</p> <p>2. 各臓器における代表疾患の病態(発生メカニズム、構造と機能の変化)を説明できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	70						70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20					10	30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
各疾患の病態を理解し、病状と関連させて看護をする際の注意点を説明することができる。				病態に関する基本的な知識を身に付け、人に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ: イントロダクション テーマ: 細胞・組織の構成とその障害 壊死とアポトーシスなどについて解説する。	講義	当該部分の予習と復習	45分
2	テーマ: 再生と修復、循環障害 創傷治癒、血栓、浮腫などについて解説する。	講義	同上	45分
3	テーマ: 炎症、免疫 炎症、アレルギーなどについて解説する。	講義	同上	45分
4	テーマ: 感染症、代謝異常 感染、代謝の総論について解説する。	講義	同上	45分
5	テーマ: 老化、新生児 加齢による変化、新生児の特徴を解説する。	講義	同上	45分
6	テーマ: 先天異常、腫瘍(1) 染色体異常、腫瘍の発生メカニズムなどを解説する。	講義	同上	45分
7	テーマ: 腫瘍(2) 腫瘍の病態などを解説する。 前半の復習	講義	同上	90分
8	テーマ: 循環器疾患 循環器の代表疾患の病態を解説する。	講義	同上	45分
9	テーマ: 呼吸器疾患 呼吸器の代表疾患の病態を解説する。	講義	同上	45分
10	テーマ: 消化器疾患 消化器の代表疾患の病態を解説する。	講義	同上	45分
11	テーマ: 内分泌疾患、血液疾患 内分泌器と造血器の代表疾患の病態を解説する。	講義	同上	45分
12	テーマ: 泌尿器疾患、神経疾患 泌尿器、神経系などの代表疾患の病態を解説する。	講義	同上	45分
13	テーマ: 運動器疾患、感覚器疾患 運動器と感覚器の代表疾患の病態を解説する。 後半の復習	講義	同上	90分
14	テーマ: 総まとめ 授業内容の総まとめを行う。	講義	同上	90分
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>疾病に関する知識は看護師の業務に不可欠であり、看護師国家試験でも大きなウエイトを占めています。「形態機能学」で学習する正常な人体の構造と機能を理解した上で、この授業に参加して下さい。この授業で学習する内容は、2年次に開講される「疾病学各論Ⅰ＆Ⅱ」「薬理学」「看護のための臨床検査」と密接に関連します。疾病を多面的に捉えて理解するように心掛けて下さい。</p>			
テキスト	<p>教科書: カラーで学べる病理学(第5版)、渡辺照男編、ヌーヴェルヒロカワ * 付録の病理学整理ノートも使用します。</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>参考図書: 看護のための臨床病態学(改訂4版)、浅野嘉延編、南山堂 解剖生理と疾病の特性(改訂2版)、浅野嘉延、南山堂</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>講義は教科書に沿って行いますので、該当する箇所を予習するとともに、講義後はしっかりと復習をして下さい。 日頃からジャーナルやインターネットなどで疾病や健康についての関心を高め、分からないことは教員に質問するだけでなく、図書館で調べるなど積極的な姿勢に心がけて下さい。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>期末試験 90%、授業貢献度 10%で評価します。</p>			

